

増設建物の考え方について

作成：令和 2 年 11 月 19 日

トータルメディア開発研究所

1 課題の整理

これまでの歴史文化保存展示施設専門検討委員会の中で、増設建物に関する以下の課題があがっている。

- (1) 世界こども美術館との意匠的な親和性
- (2) 世界こども美術館 3 階多目的ホールからの日本海眺望確保
- (3) 増設建物・世界こども美術館改修部分の機能精査
→企画展示スペース、学習スペース等の要否

2 建物の親和性と眺望の確保について

世界こども美術館の建物と増設建物については、世界こども美術館との親和性や 3 階多目的ホールからの日本海眺望を考える必要があるため、下記のとおり検討する。

< 建物の親和性と眺望のイメージ比較表 >

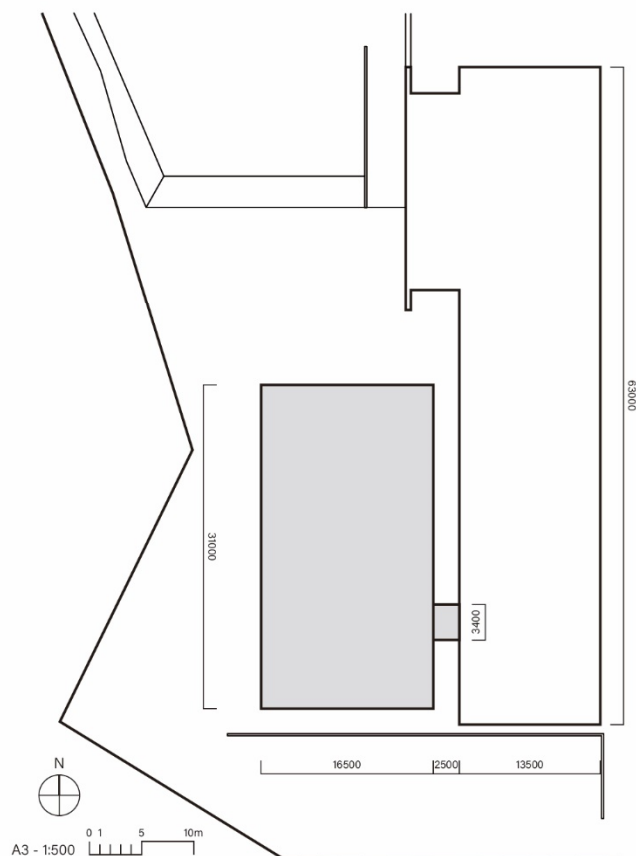
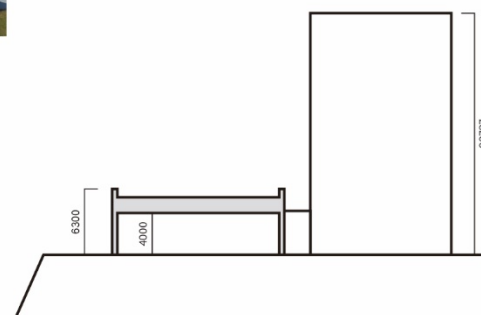
イメージ図	親和性	眺望
整備方針に基づく親和性・眺望イメージ (平屋 延床面積 520 m ²)	○	○
参考 A 親和性・眺望イメージ (平屋 延床面積 660 m ²)	○	○
参考 B 親和性・眺望イメージ (2 階建 平屋根 延床面積 800 m ²)	○	×
参考 C 親和性・眺望イメージ (2 階建 片流れ屋根 延床面積 800 m ²)	○	△

※眺望のイメージは、窓際で床高約 1.2m の視点から作成している。

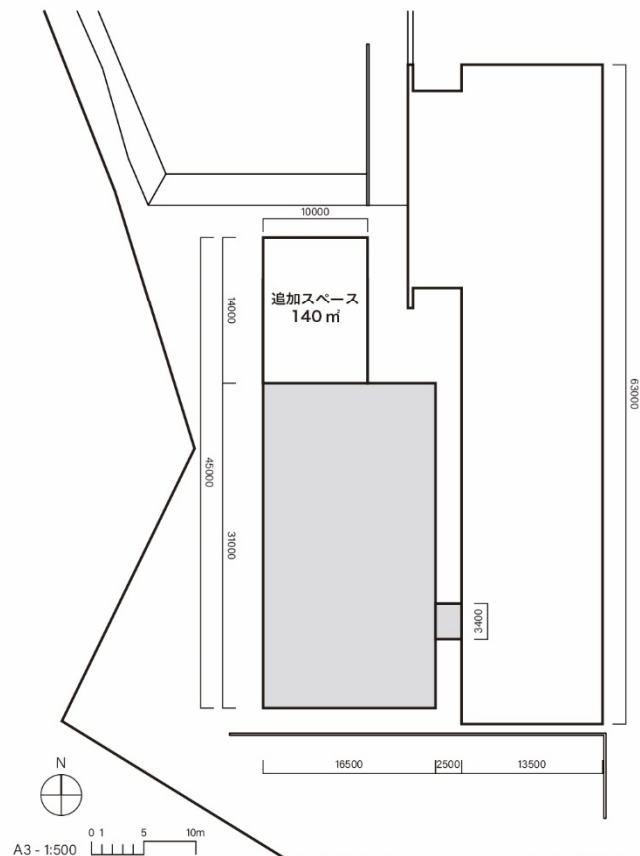
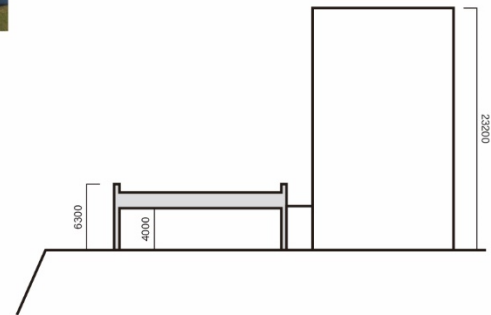
※上記の延床面積は、整備方針の面積により下記のとおり想定した。

- (1) 520 m²：増設の面積
- (2) 660 m²：増設 520 m²+3 階美術展示室の収蔵庫改修面積 139 m²(≒ 140 m²)
- (3) 800 m²：増設 520 m²+世界こども美術館の収蔵庫改修面積 280 m²

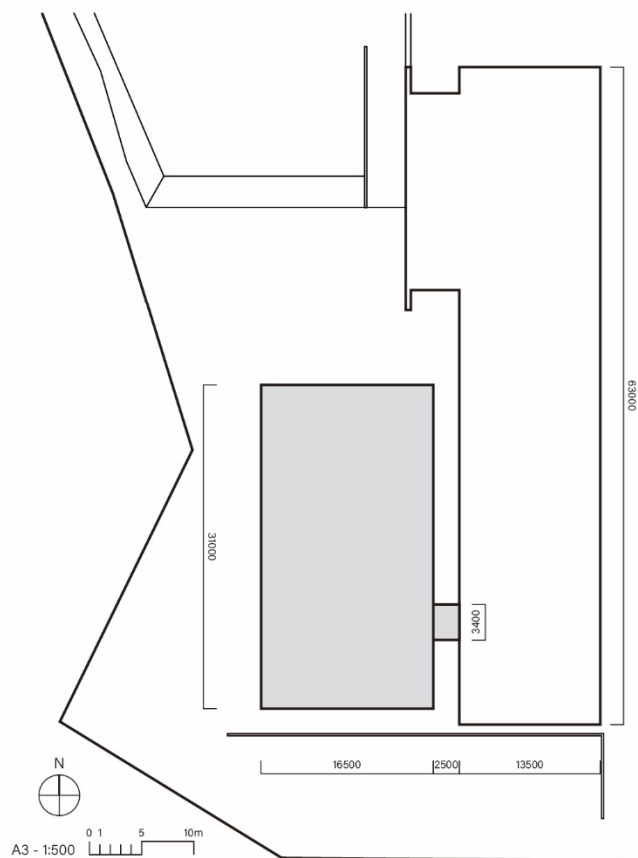
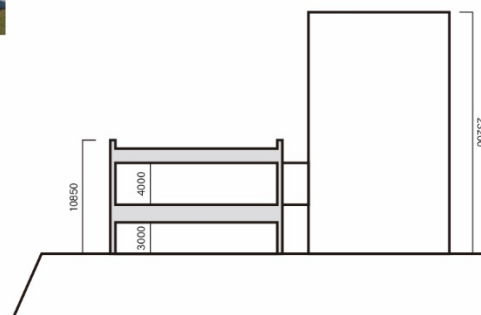
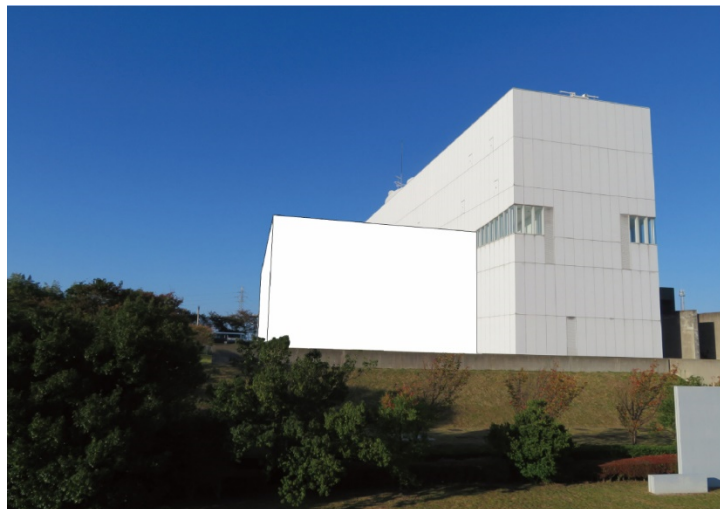
整備方針に基づく親和性・眺望イメージ
 (平屋建 平屋根 延床面積 520 m²)



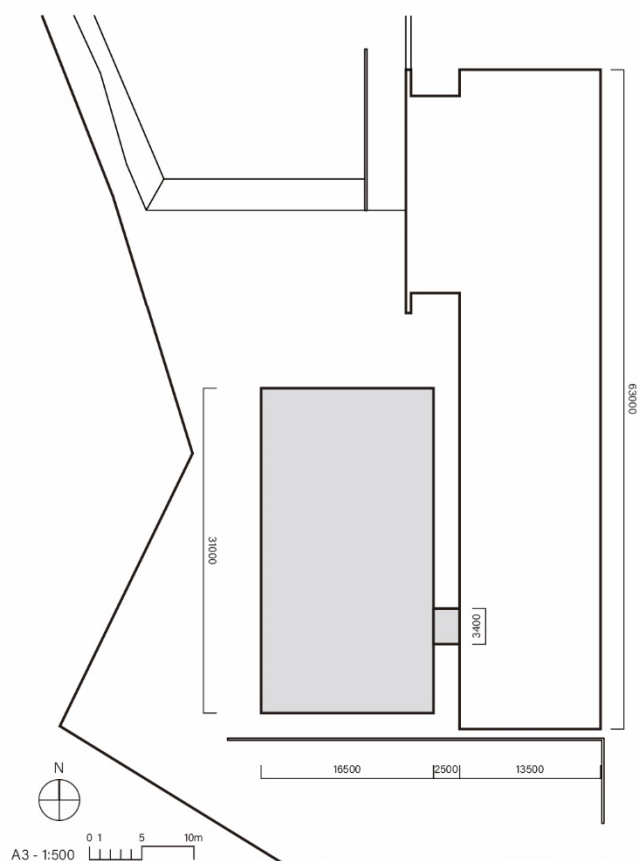
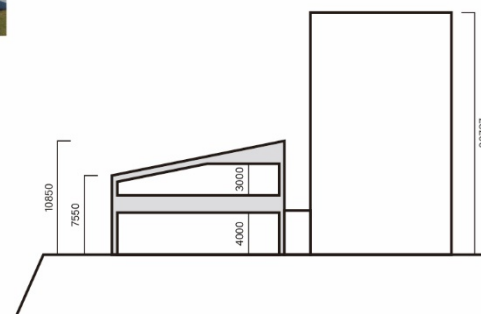
参考 A 親和性・眺望イメージ
 (平屋建 平屋根 延床面積 660 m²)



参考B 親和性・眺望イメージ
 (2階建 平屋根 延床面積 800 m²)



参考C 親和性・眺望イメージ
 (2階建 片流れ屋根 延床面積 800 m²)



3 増設建物及び改修部分の機能について

増設建物及び改修部分の機能について、以下に列挙する。各機能については、各部会で検討を深め、今後整理する。

機 能		備 考
歴 史 文 化 展 示 室 (※1)	常設展示室	浜田の特徴を理解するための歴史文化展示スペース
	企画展示室	テーマを設定し企画展示等を行うスペース
	展示ホール	常設展示室と企画展示室の導入部分のホールとしながら、浜田を紹介する展示スペース
機械室 ・ 倉庫	倉 庫	展示備品保管のためのスペース
	機械室	空調等の機械設備類設置スペース
渡り廊下		世界こども美術館との接続廊下スペース
受付		来館者の管理、対応及び学芸員のためのスペース
収蔵庫（※2）		資料を保存するスペース
学習室（※3）		学校や団体利用のスペース

（※1）整備方針の展示室を2つの展示機能と展示ホールに分けたものである。

（※2）整備方針では世界こども美術館を改修するものとしている。

（※3）整備方針に対し、委員からの意見から追加した機能。学習スペースについては、1階の創作活動室や3階の多目的ホールの利用状況と調整しながら使用する考えもある。